

会議議事録

事業名	平成 26 年度 「職業実践専門課程」の推進を担う教員養成研修モデルの開発・実証
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会
会議名	第 1 回 インストラクショナルデザイン分科会
開催日時	平成 26 年 9 月 16 日 (火) 13 : 00 ~ 15 : 00 (2h)
場所	グランドヒル市ヶ谷 東館 2 階「琵琶」
出席者	<p>①委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大城圭永 (学校法人 KBC 学園)、中島慎太郎 (学校法人有坂中央学園)、岡村慎一 (専門学校 YIC グループ)、富田伸一郎、山口典子、上田あゆ美 (株式会社ウチダ人材開発センタ、計 3 名)、井戸和男 (一般社団法人日本産業訓練協会)、三宅英明 (学校法人昇陽学院)、山田太 (学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校) (計 9 名) <p>②オブザーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永井真介 (富山情報ビジネス専門学校) ・伊藤慎二郎 (学校法人穴吹学園) (計 2 名) <p>③事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花田香央里 (鹿児島情報ビジネス専門学校) ・飯塚久仁子 (有限会社ザ・ライスマウンド) (計 2 名) <p>(参加者合計 4 名)</p>
議題等	<p>会議の目的 : インストラクショナルデザイン (以下 ID) 研修プログラムの開発内容について</p> <p>次第 :</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、委員紹介 (各委員、オブザーバー、事務局の自己紹介、役割確認等) 2、ID に関する説明 (ウチダ人材開発センタ) <ul style="list-style-type: none"> ・ ID とは <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業設計への導入目的 ・ 基本となる理論、モデル、分析について (ADDIE モデル、クラスター分析、階層分析、ガニエの 9 教授事象、ARCS モデル) 3、ID 研修プログラムの開発内容案について情報提供 (ウチダ人材開発センタ) (別紙参照) <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員が ID を活用し授業設計できるための「事前学習、研修、事後学習」の仕組みを構築する。 4、本プログラム開発に関する検討事項

<p>・「職業実践専門課程」を踏まえた上でどのようにインストラクショナルデザイン教育手法を活用するか。</p> <p>→既に ID を導入し教育設計している企業を参考にし、見比べてみる。</p> <p>→学校で ID 活用し授業設計をしている場合、それに精通している企業よりアドバイスを受ける。</p> <p>→専門学校の教育の軸である「実務に基づく教育」の部分から ID を活用した授業設計を検討する。</p> <p>・教員養成に関して</p> <p>→ID が取り入れやすい授業で、教員をモデル化し、ID に基づくプロセスをまわしてみる。</p> <p>→ID に沿った授業設計を行う意義としては、授業における目標が明確になることで学校全体のシラバス、カリキュラム内容がより具体的になる、またそれを学校全体で共有することで俗人的でない授業を行うことができ、教育の全体的な質が向上することにある。現状では、「授業の目標を明確にする」ことが出来ていない部分も多々あるので、その部分を整備できるだけでも実施していく価値があり、それがゆくゆくは授業評価の確立に繋がっていく。教育に関する PDCA のサイクルを回していくことが重要であり、これをやり抜く教員を育てるプログラムにしていきたい。</p> <p>→実務教育を行う上で、まずは教育目標をしっかりと立てられ、それをシラバスに反映できる教員の養成を行う、教育評価の部分は次年度以降の検討とする。</p> <p>→実際に ID を用いて作成したシラバス等を共有し、特に優秀な内容に関しては、事例集などを作成するなど、現場での情報共有を図る。その際は ID を活用している企業側の意見なども参考にする。</p> <p>5、次回以降の委員会のスケジュール確認</p> <p>・分科会日程については以下の通り検討する。</p> <p>第2回→10月10日(金)</p> <p>第3回→10月30日(木)</p> <p>第4回→11月10日(月)</p> <p>第5回→12月8日(木)</p> <p>第6回→2月6日(金)※確定</p> <p>2～4回の実施時間は14:00～16:00予定</p> <p>・実証講座の日程については以下の通り確定とする。</p> <p>12月18日(木)～19日(金)</p>
--